



2年間の様々な経験で

自分の夢が明確になりました

アート・デザイン学科 2年

K.W.さん

群馬県立伊勢崎高等学校 出身

2年間の思い出はたくさんありますが、特に2年次前期に行った3週間の教育実習では、実際の現場で学べ、とても貴重な経験を積むことができました。初めての経験ばかりで戸惑う事もありましたが、やり甲斐を感じとても楽しかったです。また2年次後期の教職実践演習では、アート・デザイン学科と生活科学科が合同で商品開発をする授業があり、生活科学科が製作したお菓子のパッケージなどをデザインしました。チームでゼロから作りあげる楽しさ、考えたものが実際に形になる喜びを実感できたことは、普段作品作りなどは一人で黙々と作業をすることが多いので、とても良い経験になりました。教職科目も履修していたので忙しく大変な時期もありましたが、教育実習など様々な経験をしたことで、しっかりとした目標を自分の中で決めることができました。入学するまで将来の夢が明確ではなかったのですが、アート・デザイン学科で学ぶことで、美術教師になりたいという夢を見つける事ができました。

美術教師になる夢を実現するための

充実した学びの環境があります

アート・デザイン学科 2年

M.H.さん

群馬県・高崎市立高崎経済大学附属高等学校 出身

高校生の時から美術系大学に興味があり、高校の美術の先生に相談をしたところ、アート・デザイン学科を紹介され入学を決めました。その際に様々な観点からアドバイスしてくれる先生に憧れ、自分も美術の教員になりたいと夢を持ちました。アート・デザイン学科は、様々な感性を持った人がいるので、自分が知らなかった事、思いつかない様な事、多彩なジャンルを学べ刺激になるので、入学して本当に良かったと思います。また、アートやデザインの専門的な知識を学び、自分の作品を制作しながら教員免許を取得できるのも魅力です。2年間の学びの中で、教育実習は自分の中でも一生忘れない素晴らしい経験になりました。今までは学ぶ生徒側だったのでいざ教える側になると、伝えたい事が上手く伝わらない場面が多く、いかに分かりやすく伝えるかを考え工夫しながらコミュニケーションをとる事の大切さを学びました。生徒たちから「先生」と呼ばれることは恥ずかしかったのですが、頼られているのを感じたときはとても嬉しかったです。卒業後は群馬県立女子大学に編入し2年間の学びを活かして教職課程を続けて、将来は高校の美術教師になりたいと思っています。